



目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の内容
 - 2.2. 製品の利用対象
- 3. IM-BloomMaker for Accel Platform 2022 Winter(Freesia) からの変更点
 - 3.1. 仕様変更
 - 3.2. 追加された主な機能
 - 3.3. システム要件
 - 3.4. 検証済み環境
 - 3.5. サードパーティライブラリ
 - 3.6. 制限事項
- 4. アップデート時の注意点
 - 4.1. 2019 Summer(Waltz) からアップデート
 - 4.2. 2020 Summer(Zephyrine) からアップデート
- 5. 機能一覧
- 6. システム要件
 - 6.1. サーバ要件
 - 6.1.1. intra-mart Accel Platform
 - 6.2. クライアント要件
 - 6.3. ライセンス要件
- 7. 検証済み環境
 - 7.1. サーバ環境
 - 7.2. クライアント環境
- 8. サードパーティ ライセンス一覧
- 9. 制限事項
 - 9.1. コンテンツ
 - 9.2. デザイナ および 実行画面
 - 9.2.1. 変数エディタでマップを扱う場合、マップ内の各要素は同じ型を選択してください。
 - 9.2.2. デザイナ画面での見た目と、プレビュー画面およびアプリケーション実行時の画面の見た目は異なります。
 - 9.2.3. 動画埋め込みエレメントで autoplay を true に設定しても、自動再生されないブラウザがあります。
 - 9.2.4. マップ型の変数を別の変数にアクションを用いて代入した場合、アクションアイテムによって表示が異なります。
 - 9.2.5. 各エレメントの共通プロパティにある「テキストスタイル」カテゴリ内の「横揃え」プロパティにて、「match-parent」を設定してもスタイルに設定されないことがあります。
 - 9.2.6. CSSエディタの編集内容によりデザイナの見目が壊れる可能性があります。
 - 9.2.7. 整数を入力するプロパティに小数を入力した場合、四捨五入、または切り捨てされた値が利用される場合があります。
 - 9.2.8. マップ型とマップ型以外の型の相互変換はできません。
 - 9.2.9. 互換テーマを利用した場合、ブラウザによってレイアウトが崩れて表示される場合があります。
 - 9.2.10. カスタムスクリプトで利用できるグローバルオブジェクトは一部を除いて機能を制限しています。
 - 9.2.11. リッチテキストボックスが読み取り専用の場合、Google Chrome でリッチテキストの値をコピーするとブラウザのコンソールにエラーが出力されます。
 - 9.2.12. IM-Repository定義から変数・定数・入力を作成する際に、対応していない制約があります。
 - 9.2.13. リッチテーブルエレメントは、変数の入力規則に対応していません。

- 9.2.14. ファイルアップロードエレメントでサイズが大きいファイルを指定すると、エラーページが表示されることがあります。
- 9.2.15. 利用するブラウザによって、見た目や挙動が異なるエレメントがあります。
- 9.2.16. コンテンツ種別「Bulma」のアプリケーション画面では、画面幅を超えた要素があっても横スクロールが発生しません。
- 9.2.17. サイドメニューエレメントでは、認可による機能の制限を行っていません。
- 9.2.18. カスタムスクリプト内で `$im.event.mouse` を利用して取得できる値について、制限があります。
- 9.2.19. スプレッドシートエレメントにおいて、バインド対象のテーブルの左右にテーブルを配置してはいけません。
- 9.2.20. エレメント「外部リソース埋め込みコンテナ」で PDF ファイルを指定する場合、Android の Google Chrome では PDF は表示されません。
- 9.2.21. 利用する端末、ブラウザによって `inputmode` で指定したソフトウェアキーボードの見た目が異なります。
- 9.2.22. バーコードリーダー、QR コードリーダーエレメントを利用する場合、https でのアクセスが必要です。
- 9.2.23. リッチテーブルエレメントのドラッグ&ドロップによるセルのリサイズ機能は、モバイル端末に対応していません。
- 9.2.24. 「変数〇に一覧データ〇から選択したものを代入する」を使用して一覧データを表示した場合、列名クリックにより降順でソートされます。
- 9.2.25. サイドメニューコンテナエレメントのメニューの検索状態はコンテナページを移動してもクリアされません。
- 9.2.26. サイドメニューエレメントのユーティリティメニューはテーマが提供するユーティリティメニューと同一ではありません。
- 9.2.27. 排他制御エレメントを同一コンテナページ内に複数配置することはできません。
- 9.2.28. デザイナでの見た目とプレビュー、アプリケーション画面での見た目との間に差が出る場合があります。
- 9.2.29. ワークブックエディタで開きながら、プレビュー、アプリケーション画面上のスプレッドシートが操作できてしまいます。
- 9.2.30. 複数選択パブリックグループ検索アクションアイテムでダイアログを再表示すると、選択済みのパブリックグループ名が変わります。
- 9.2.31. iOS・iPadOS の Safari で日付入力を表示したとき、min, max の指定が動作しません。
- 9.2.32. iOS・iPadOS の Safari で、音声または動画を再生・一時停止するアクションアイテムを1つのアクションに対して複数設定した場合、一部しか動かない場合があります。
- 9.2.33. WebSocket の接続に失敗した場合、デザイナ画面に表示されている排他制御機能が期待通りに動作しません。
- 9.2.34. 辞書項目の JavaScript 変数名が未入力またはハイフン、アンダーバー以外の記号を利用していた場合、エンティティデータの検証が動作しません。
- 9.2.35. iOS・iPadOS の Safari で、コンテナの「ページ遷移時警告」が動作しません。
- 9.2.36. iOS・iPadOS で、時刻入力エレメントの「showSeconds プロパティ」が動作しません。
- 9.2.37. iOS・iPadOS で、時刻入力エレメント・日付入力エレメントの「readonly プロパティ」が動作しません。
- 9.2.38. 数値入力エレメント、数値入力（フォーマット）エレメントで、入力したデータをいくつずつ変化させるのか、を指定するプロパティ「step」が動作しません。
- 9.2.39. モバイル端末で、入力系エレメントの「min プロパティ」「max プロパティ」が動作しません。
- 9.2.40. iOS・iPadOS でダイアログを表示した際、ダイアログ内のどのエレメントにも autofocus があたりません。
- 9.2.41. Safari で、ダイアログ内のリンクからページ遷移し、ブラウザの戻るボタンをクリックすると、ダイアログの裏にあるエレメントが操作できます。
- 9.2.42. エレメント「排他制御」のプロパティ「unlockOnLeave」が有効の場合、通信状況や端末の仕様によってはページを離れてもロックが解除されません。

- 9.3. ルーティング
- 9.4. テンプレート
 - 9.4.1. 2019 Summer(Waltz)環境で作成したコンテンツをインポートしコピー元コンテンツとして利用する場合、サムネイルが表示されない場合があります。
- 9.5. エlementセット
 - 9.5.1. コンテナページ直下のみに配置可能なElementを登録したElementセットを使用した場合、テーマが適用されないことがあります。
- 9.6. インポート・エクスポート
 - 9.6.1. IM-BloomMaker for Accel Platform のエクスポート資材には前方互換性はありません。
 - 9.6.2. WebSphere Application Server を利用する場合、テナント環境セットアップ後やインポート実行後にサーバを再起動する必要があります。
 - 9.6.3. IM-Repository の辞書項目への参照があるコンテンツをインポートする際に、その辞書項目の存在確認を行っていません。
- 9.7. デバッグツール
 - 9.7.1. Chrome 拡張機能のデバッグツールで「ページ読み込み時」に設定されたアクションはブレークポイントで一時停止しません。
- 10. 保証規程
 - 10.1. 保証内容及び対象
 - 10.2. 保証の適用除外
 - 10.3. 免責
 - 10.4. その他の契約との関係
- 11. 著作権および特記事項

変更年月日	変更内容
-------	------

2023-04-01	初版
------------	----

本書の内容

本書ではIM-BloomMaker for Accel Platformのリリース内容について記載されています。

製品の利用対象

次の利用を対象としています。

IM-BloomMaker for Accel Platformを利用した画面の作成および、作成された画面の利用者

— IM-BloomMaker for Accel Platform 2023 Spring リリースノート 初版 2023-04-01 IM-BloomMaker for Accel Platform 2022 Winter(Freesia) からの変更点

仕様変更

コンテナページ（デザイナー画面のタブ）の切り替えをページ遷移と同じ扱いに変更します。
これにより、エレメント「排他制御」のプロパティ「lockOnJoin」「unlockOnLeave」に影響が及ぶ場合があります。

影響発生事例：

排他制御エレメントを配置したコンテナページ（A）と、別ページ表示用のコンテナページ（B）の両方を含むコンテンツ定義を作成した
場合、A から B へコンテナページの表示を切り替える

結果：

2022 Winter(Freesia) まで：

排他制御エレメントの unlockOnLeave プロパティが有効でも、ロックは解除されません

2023 Spring(Gerbera) から：

排他制御エレメントの unlockOnLeave プロパティが有効のとき、ロックが解除されます

追加された主な機能

- 機能追加
 - リッチテーブルで string, integer, double, fraction, date 型の dataSource に label 属性を追加します。
 - リッチテーブルに数値をフォーマットする機能を追加します。
 - リッチテキストエディタのヘッダ・フッタ表示を切り替えるプロパティを追加します。
 - コンテナの設定にプロパティ「ページアイコン」を追加します。
 - システムロケール等の情報を「環境」に追加します。
- 機能強化
 - デザイナ
 - ファイルアップロードのボタンのラベルを変更できるように改善します。
 - 日付入力・時刻入力エレメントで、不正な日付を入力したときに Invalid Date を変数に代入するオプションを追加します。
 - フォントの「重み」を「太さ」に変更します。
 - プレビュー、アプリケーション画面
 - 非同期型アクションアイテムを実行したときに解除したフォーカスを、アクション実行後に戻します。
 - サイドメニューエレメントを強制的に非表示にする手段を提供します。
 - パフォーマンス改善
 - 計書出力のパフォーマンスを改善します。

システム要件

- intra-mart Accel Platform 2023 Spring(Gerbera) のシステム要件に準じて変更しました。

検証済み環境

- intra-mart Accel Platform 2023 Spring(Gerbera) の検証済み環境に準じて変更しました。

サードパーティライブラリ

- 追加・変更
 - Apache POI を 3.9 から 5.2.3 に変更しました。
 - anime.js を 3.1.0 から 3.2.1 に変更しました。
 - bluebird を 3.5.4 から 3.7.2 に変更しました。
 - dialog-polyfill を 0.5.0 から 0.5.6 に変更しました。
 - html2canvas を 1.0.0-rc.3 から 1.4.1 に変更しました。
 - monaco-editor を 0.18.1 から 0.34.1 に変更しました。
 - promise を 8.0.3 から 8.3.0 に変更しました。
 - vue-router を 3.0.6 から 3.6.5 に変更しました。
 - Vue.js を 2.5.17, 2.6.14 から 2.7.14 に変更しました。
 - vuedraggable を 2.23.2 から 2.24.3 に変更しました。
 - vuex を 3.1.0 から 3.6.2 に変更しました。
 - whatwg-fetch を 3.0.0 から 3.6.2 に変更しました。
- 削除
 - 削除されたサードパーティライブラリはありません。

制限事項

- 追加された制限事項
 - 「[エレメント「排他制御」のプロパティ「unlockOnLeave」](#)が有効の場合、通信状況や端末の仕様によってはページを離れてもロックが解除されません。」
 - 「[IM-Repository](#) の辞書項目への参照があるコンテンツをインポートする際に、その辞書項目の存在確認を行っていません。」
- 変更された制限事項
 - 変更された制限事項はありません。
- 削除された制限事項
 - 削除された制限事項はありません。

2019 Summer(Waltz) からアップデート



注意

詳細は [アップデート時に IM-Juggling で必要なメンテナンス作業](#) を参照してください。

2020 Summer(Zephyrine) からアップデート

2020 Summer(Zephyrine) 以前が含まれていた環境を 2020 Winter(Azalea) 以降にアップデートする場合、テナント環境セットアップ後に intra-mart Accel Platform を再起動してください。



注意

詳細は、[テナント環境セットアップ後の各種メンテナンス（アップデートによるメンテナンス）](#) を参照してください。

なお、2020 Winter(Azalea) の war ファイルをデプロイした後、テナント環境セットアップ前の場合、intra-mart Accel Platform 起動時に以下のエラーが出力されます。

```
[ERROR] j.c.i.s.s.e.i.AbstractSystemExecutorService - [E.IWP.SERVICE.00015] バックエンド処理の実行に失敗しました。
```

PostgreSQL の場合

```
jp.co.intra_mart.mirage.exception.SQLRuntimeException: org.postgresql.util.PSQLException: ERROR: 列 route.content_versionは存在しません
```

Oracle Database の場合

```
jp.co.intra_mart.mirage.exception.SQLRuntimeException: java.sql.SQLSyntaxErrorException: ORA-00904: "ROUTE"."CONTENT_VERSION": 無効な識別子です。
```

テナント環境セットアップ後に再起動することで、当該エラーは出力されなくなり、正常に動作します。

- IM-BloomMaker for Accel Platform に含まれる機能の一覧です。

機能	機能概要
コンテンツ機能	アプリケーション画面作成に必要な定義情報を管理する機能です。
ルーティング機能	アプリケーション画面のURLや認可など、ユーザがアプリケーション画面にアクセスするために必要な情報を管理する機能です。
テンプレート機能	雛形となる コンテンツを管理する機能です。
エレメントセット機能	エレメントセットを管理する機能です。
デザイナ機能	ブラウザ上でアプリケーション画面のデザイン編集を行う機能です。
インポート・エクスポート機能	IM-BloomMakerに関連する定義情報を他環境に移行するための機能です。 以下の情報をインポート・エクスポートできます。 ■ コンテンツ定義（デザイナの定義情報を含む） ■ ルーティング定義（認可設定はインポート・エクスポートできません。） ■ テンプレート定義 ■ エレメントセット定義



コラム

IM-BloomMaker for Accel Platform のエクスポート資材には前方互換性がありません。

詳細は、「[IM-BloomMaker for Accel Platform のエクスポート資材には前方互換性がありません。](#)」をご確認ください。

当バージョンにおけるシステム要件は次の通りです。

サーバ要件

intra-mart Accel Platform

- intra-mart Accel Platform 2023 Spring(Gerbera)
- 利用するintra-mart Accel Platformのサーバ要件に準じます。



警告

Microsoft SQL Serverは、性能・パフォーマンスに関する問い合わせが数多く報告されています。十分な検証とチューニングが必要です。



注意

IBM製品（WebSphere Application Server）をご検討の場合は事前に弊社までご相談ください。

クライアント要件

- 利用するintra-mart Accel Platformのクライアント要件に準じます。

ライセンス要件

IM-BloomMaker for Accel Platformを利用するためには、下記のライセンスが必要です。

種別	ライセンス
プラットフォーム	intra-mart Accel Platform [Advanced Edition]、または、[Professional Edition]
エクステンション	IM-BloomMaker for Accel Platform



コラム

- IM-BloomMaker for Accel Platform「エンタープライズ」や「プロフェッショナル」に同梱されており、別売はありません。

- 以下、弊社動作検証済みの intra-mart 製品と他社ミドルウェア製品との組み合わせです。

サーバ環境

- intra-mart Accel Platform 2023 Spring(Gerbera)の検証済みサーバ環境に準じます。

クライアント環境

- intra-mart Accel Platform 2023 Spring(Gerbera)の検証済みクライアント環境に準じます。

サードパーティ	バージョン	ライセンス	URL
animejs	3.2.1	MIT	https://animejs.com/
Apache POI	5.2.3	ASL	http://poi.apache.org/
axios	0.21.4	MIT	https://github.com/axios/axios
babel	7.4.0	MIT	https://babeljs.io/
babel-polyfill	7.4.0	MIT	https://babeljs.io/docs/en/babel-polyfill
babel-preset-env	7.4.0	MIT	https://babeljs.io/docs/en/babel-preset-env
bluebird	3.7.2	MIT	http://bluebirdjs.com/
bulma	0.9.3	MIT	https://bulma.io/
dialog-polyfill	0.5.6	BSD	https://github.com/GoogleChrome/dialog-polyfill/
encoding-japanese	1.0.30	MIT	https://github.com/polygonplanet/encoding.js
Font Awesome(Icon)	5.13.1	CC BY 4.0	https://fontawesome.com/
Font Awesome(Web Font)	5.13.1	SIL OFL 1.1	https://fontawesome.com/
html2canvas	1.4.1	MIT	https://html2canvas.hertzen.com/
iziToast	1.4.0	ASL	http://izitoast.marcelodolza.com/
jsqr	1.4.0	ASL	https://github.com/cozmo/jsQR
lodash	4.17.21	MIT	https://lodash.com/
monaco-editor	0.34.1	MIT	https://microsoft.github.io/monaco-editor/
path	0.12.7	MIT	https://github.com/jinder/path
promise	8.3.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/promise
Squire	1.9.0	MIT	http://fastmail.github.io/Squire/
vue-router	3.6.5	MIT	http://router.vuejs.org/
vuejs	2.7.14	MIT	https://ja.vuejs.org/
vuedraggable	2.24.3	MIT	https://www.npmjs.com/package/vuedraggable
vuex	3.6.2	MIT	https://vuex.vuejs.org
whatwg-fetch	3.6.2	ASL	https://github.com/github.io/fetch/

コンテンツ

2023 Spring(Gerbera) 時点では制限事項はありません。

デザイナー および 実行画面

変数エディタでマップを扱う場合、マップ内の各要素は同じ型を選択してください。

変数でマップを使用する場合、値の型は全て同一にしてください。

デザイナー画面での見た目と、プレビュー画面およびアプリケーション実行時の画面の見た目は異なります。

デザイナー画面で利用できるプロパティの一部に、プレビュー画面およびアプリケーション実行時のみ適用されるものがあるためです。

動画埋め込みエレメントで `autoplay` を `true` に設定しても、自動再生されないブラウザがあります。

ブラウザによりメディアの自動再生を許可する条件が異なるためです。

マップ型の変数を別の変数にアクションを用いて代入した場合、アクションアイテムによって表示が異なります。

- 「変数○に○を代入する」アクションアイテムを使用して変数の代入を行った場合、<マップ>と表示されます。
- 「カスタムスクリプトを実行する」アクションアイテムを使用して変数の代入を行った場合、{ }と表示されます。

各エレメントの共通プロパティにある「テキストスタイル」カテゴリ内の「横揃え」プロパティにて、「match-parent」を設定してもスタイルに設定されないことがあります。

「match-parent」プロパティに関するブラウザの仕様は草案段階であり、ブラウザによって実装状況・挙動が異なります。

各ブラウザの対応状況は「[MDN web docs](#)」を参照ください。

CSSエディタの編集内容によりデザイナーの見た目が壊れる可能性があります。

例として以下のようなCSSを設定した場合、デザイナーの見た目が壊れることを確認しています。

```
html {  
  font-size: 100px;  
}
```

```
a: a:visited, a:link { color: #000 }
```

整数を入力するプロパティに小数を入力した場合、四捨五入、または切り捨てされた値が利用される場合があります。

小数を入力した結果バリデーションエラーが発生しても、画面上では四捨五入、または切り捨てで丸め処理された値が適用されます。

マップ型とマップ型以外の型の相互変換はできません。

アクションを使用してマップ型の変数に代入した値をマップ型以外の変数に再代入することはできません。

互換テーマを利用した場合、ブラウザによってレイアウトが崩れて表示される場合があります。

互換テーマを利用した場合、画面幅が変わる事によりレイアウトが崩れて表示される場合があります。

カスタムスクリプトで利用できるグローバルオブジェクトは一部を除いて機能を制限しています。

カスタムスクリプトで利用できるグローバルオブジェクトは一部を除いて機能を制限しています。
そのため、カスタムスクリプト内でDOMを操作することはできません。

リッチテキストボックスが読み取り専用の場合、Google Chrome でリッチテキストの値をコピーするとブラウザのコンソールにエラーが出力されます。

使用しているライブラリ (Squire) の不具合により、ブラウザのコンソールにエラーが出力されます。
なお、動作に影響はありません。

IM-Repository定義から変数・定数・入力を作成する際に、対応していない制約があります。

IM-Repository の下記制約が対象です。

- 数値（最小整数桁、最大整数桁、最小小数桁、最大小数桁）
- 日付時刻
- 独自に追加した制約

リッチテーブルエレメントは、変数の入力規則に対応していません。

変数の入力規則に則っていない場合エレメントが赤枠で囲まれますが、リッチテーブルはこれに対応していません。

ファイルアップロードエレメントでサイズが大きいファイルを指定すると、エラーページが表示されることがあります。

ファイルアップロードエレメントを使用した画面で、100MB を超えるファイルを選択すると、ブラウザにエラーページが表示され、それ以降の処理が続行できなくなることがあります。
この事象が発生する条件となるファイルサイズは、使用するブラウザや、クライアントのマシンスペックによって異なります。

利用するブラウザによって、見た目や挙動が異なるエレメントがあります。

利用するブラウザによって、見た目や挙動が異なるエレメントがあります。

コンテンツ種別「Bulma」のアプリケーション画面では、画面幅を超えた要素があっても横スクロールが発生しません。

サイドメニューエレメントでは、認可による機能の制限を行っていません。

サイドメニューエレメントでは、以下の機能に関わるアイコンが認可の有無に関わらず表示されます。

- IM-ContentsSearch モジュールの全文検索機能
- マイメニュー機能

そのため、アクセス権限のない画面への遷移や機能を利用しようとした場合、403 エラーが発生します。

カスタムスクリプト内で `$im.event.mouse` を利用して取得できる値について、制限があります。

Mac を利用している場合は、以下の値は常に `false` です。

これは、Mac OS がどのマウスボタンが押されているかを判別する機能を有していないためです。

- `$im.mouse.leftButton`
- `$im.mouse.rightButton`
- `$im.mouse.wheelButton`
- `$im.mouse.extraButton1`
- `$im.mouse.extraButton2`
- `$im.mouse.isExtraButton()`

また、iPhone, Android, iPad を利用している場合、上記の API はサポート対象外です。

スプレッドシートエレメントにおいて、バインド対象のテーブルの左右にテーブルを配置してはいけません。

スプレッドシートエレメントにおいて、バインド対象のテーブルの左右にテーブルを配置してはいけません。

バインド対象のテーブルは、バインドする配列変数の長さによってテーブルの行数が動的に変化します。

このとき、行の挿入または削除が行われており、バインド対象のテーブルの左右に存在するテーブル情報が壊れてしまいます。

シートにテーブルを複数配置したい場合は、同一行にテーブルが複数存在しないようにしてください。

エレメント「外部リソース埋め込みコンテナ」で PDF ファイルを指定する場合、Android の Google Chrome では PDF は表示されません。

エレメント「外部リソース埋め込みコンテナ」で PDF ファイルを指定する場合、Android の Google Chrome では PDF は表示されません。

Android の Chrome には PDF を表示するビューアが搭載されていないためです。

利用する端末、ブラウザによって `inputmode` で指定したソフトウェアキーボードの見た目が異なります。

利用する端末、ブラウザによって `inputmode` で指定したソフトウェアキーボードの見た目が異なります。

バーコードリーダー、QR コードリーダーエレメントを利用する場合、https でのアクセスが必要です。

バーコードリーダー、QR コードリーダーエレメントを利用する場合、https でのアクセスが必要です。

リッチテーブルエレメントのドラッグ&ドロップによるセルのリサイズ機能は、モバイル端末に対応していません。

リッチテーブルエレメントのドラッグ&ドロップによるセルのリサイズ機能は、モバイル端末に対応していません。

「変数○に一覧データ○から選択したものを代入する」を使用して一覧データを表示した場合、列名クリックにより降順でソートされます。

「変数○に一覧データ○から選択したものを代入する」を使用して一覧データを表示した場合、列名クリックにより降順でソートされます。

サイドメニューコンテナエレメントのメニューの検索状態はコンテナページを移動してもクリアされません。

サイドメニューコンテナエレメントで表示しているメニュー検索のテキストボックスにグローバルナビのメニューフォルダ、メニューアイテムの名称に一致する文字を入力すると検索結果として該当するメニューフォルダ、メニューアイテムの一覧を表示します。

intra-mart Accel Platform の Slim Side Menuテーマ の場合、検索結果を表示した状態で画面の更新やメニューアイテムへ遷移すると

メニュー検索のテキストボックスは空になり検索結果がクリアされます。

IM-BloomMaker for Accel Platform のサイドメニューコンテナエレメントの場合、Slim Side Menuテーマ と同様に画面の更新やメニューアイテムへ遷移でメニューの検索状態がクリアされます。

しかし、コンテナページごとにメニュー検索のテキストボックスに入力した文字、検索結果の一覧が表示された状態を保持します。

コンテナページごとに検索状態を保持するため、例えばメニューを検索した状態で別のコンテナページに移動した場合は移動先のサイドメニューコンテナエレメントには移動元のコンテナページでの検索状態は反映されませんが移動元のコンテナページに戻ると、検索状態はクリアされず保持されます。

サイドメニューエレメントのユーティリティメニューはテーマが提供するユーティリティメニューと同一ではありません。

サイドメニューエレメントのユーティリティメニューはテーマが提供するユーティリティメニューと同一ではありません。

複数の組織に所属するユーザの場合、サイドメニューエレメントのユーティリティメニューに組織切り替えのメニューが表示されません。

これ以外にもユーティリティメニューにお客様が追加したユーティリティプラグインは、サイドメニューエレメントのユーティリティメニューに表示されません。

排他制御エレメントを同一コンテナページ内に複数配置することはできません。

排他制御エレメントを同一コンテナページ内に複数配置することはできません。

コンテナページ毎に一つだけ配置するようにしてください。

デザイナでの見た目とプレビュー、アプリケーション画面での見た目との間に差が出る場合があります。

デザイナでの見た目とプレビュー、アプリケーション画面での見た目との間に差が出る場合があります。

- 外部リソース埋め込みコンテナ
 - 縦幅に 100% を指定しても、プレビューやアプリケーション画面では 100% として表示されません。
 - 外部リソース埋め込みの親の要素である外部リソース埋め込みコンテナの縦幅に 100vh を指定することで画面の高さ全体に表示できます。

ワークブックエディタで開きながら、プレビュー、アプリケーション画面上のスプレッドシートが操作できてしまいます。

ワークブックエディタで開きながら、プレビュー、アプリケーション画面上のスプレッドシートが操作できてしまいます。

ワークブックエディタを開いたときにプレビュー、アプリケーション画面はインジケータが表示されたままですが、ワークブックエディタを開いた状態でプレビュー、アプリケーション画面をアクティブにし Tab キー押下によりセルの操作ができてしまいます。

複数選択パブリックグループ検索アクションアイテムでダイアログを再表示すると、選択済みのパブリックグループ名が変わります。

複数選択パブリックグループ検索アクションアイテムでダイアログを再表示すると、選択済みのパブリックグループ名が変わります。

「複数選択パブリックグループ検索ダイアログを表示する」アクションアイテムを配置し、「パブリックグループ名」に変数値を指定します。

このとき、ダイアログの初回表示時に選択したパブリックグループ名は、トップ階層からのフルパスが表示されますが、2 回目以降の表示では末端のパブリックグループ名のみ表示されます。

iOS・iPadOS の Safari で日付入力を表示したとき、min, max の指定が動作しません。

iOS・iPadOS の Safari で日付入力を表示したとき、min, max の指定が動作しません。

iOS・iPadOS の Safari で、音声または動画を再生・一時停止するアクションアイテムを1つのアクションに対して複数設定した場合、一部しか動かない場合があります。

iOS・iPadOS の Safari を利用しているとき、以下のアクションアイテムを1つのアクションに対して複数設定した場合、1つのコンテンツ（音声・動画）しか再生されない場合があります。

- 音声または動画を再生する
- 音声または動画を再生・一時停止する

WebSocket の接続に失敗した場合、デザイナー画面に表示されている排他制御機能が期待通りに動作しません。

稀に WebSocket の接続に失敗し、コンソールにエラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージは connection to '接続先のURL' failed: です。'接続先のURL'は利用している環境に依存します。

接続に失敗した場合、排他制御機能のUIが期待通りに動作しません。

画面を更新し再接続してください。

辞書項目の JavaScript 変数名が未入力またはハイフン、アンダーバー以外の記号を利用していた場合、エンティティデータの検証が動作しません。

以下の条件のいずれかに合致する場合、IM-LogicDesigner で利用できるタスク「エンティティデータの検証」および「フロー開始時に IM-Repository 定義の入力値を検証する」が動作しません。

- IM-BloomMaker の変数名に利用できるハイフン、アンダーバー以外の記号を IM-Repository の辞書項目の JavaScript 変数名で利用した場合
- IM-Repository の辞書項目の JavaScript 変数名が未入力の場合

iOS・iPadOS の Safari で、コンテナの「ページ遷移時警告」が動作しません。

iOS・iPadOS の Safari で、コンテナの「ページ遷移時警告」をオンに設定した画面を表示後、別のページに遷移しても、ページ遷移時警告が動作しません。

iOS・iPadOS で、時刻入力要素の「showSeconds プロパティ」が動作しません。

iOS の Safari、iPadOS の Safari で、時刻入力要素のプロパティ「showSeconds」を有効に設定しても、秒数が表示されません。

iOS・iPadOS で、時刻入力要素・日付入力要素の「readonly プロパティ」が動作しません。

時刻入力要素、日付入力要素のプロパティ「readonly」を有効にしても、入力不可が適用されません。

- 該当するブラウザ
 - iOS: Safari
 - iPadOS: Safari
- 該当する要素
 - 日付入力
 - 日付入力 (Bulma)
 - 時刻入力
 - 時刻入力 (Bulma)

数値入力要素、数値入力 (フォーマット) 要素で、入力したデータをいくつずつ変化させるのか、を指定するプロパティ「step」が動作しません。

数値入力要素、数値入力 (フォーマット) 要素で、入力したデータをいくつずつ変化させるのか、を指定するプロパティ「step」が動作しません。

- 該当するブラウザ
 - iOS: Safari
 - iPadOS: Safari
 - AndroidOS: Chrome
- 該当する要素
 - 数値入力
 - 数値入力 (Bulma)
 - 数値入力 (フォーマット)
 - 数値入力 (フォーマット) (Bulma)

モバイル端末で、入力系要素の「min プロパティ」「max プロパティ」が動作しません。

以下の操作を行うと、min プロパティ、max プロパティの設定に関係なく、値を入力できてしまいます。

- 入力系の要素に、最小値を指定する min プロパティ・最大値を指定する max プロパティ に任意の値を設定する

— IM-BloomMaker for Accel Platform 2023 Spring リリースノート 初版 2023-04-01

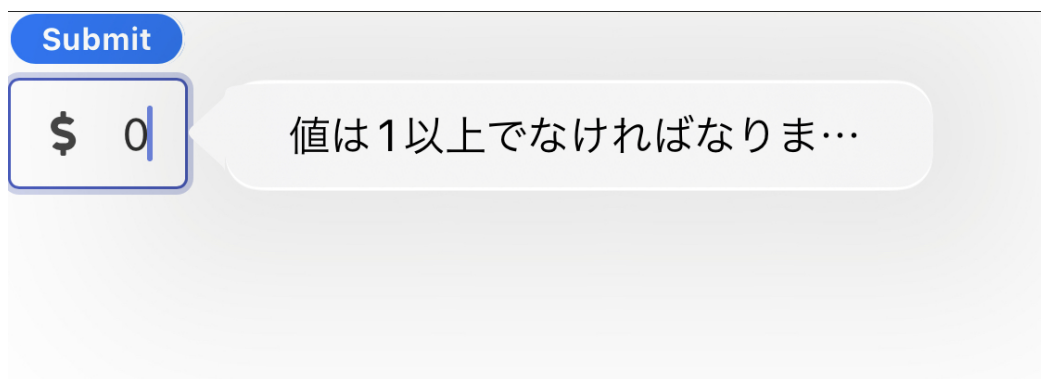
- モバイル端末からアプリケーション画面にアクセスする
- 入力系エレメントに min プロパティより小さい値、または、max プロパティより大きい値を入力する
=> 入力できないはずの値を入力できてしまいます。

なお、フォームの submit を行くと、エラーメッセージが表示されます。

- フォーム部品カテゴリの「フォームエレメント」内に、min プロパティ・max プロパティを設定した、入力系エレメントを配置する



- モバイル端末からアプリケーション画面にアクセスする
- 入力系エレメントに min プロパティより小さい値、または、max プロパティより大きい値を入力する
- 「Submit」 ボタンをタップする
=> 入力値が min プロパティ、または、max プロパティの条件を満たしていない旨のエラーメッセージが表示されます。



- 該当するブラウザ
 - iOS: Safari
 - iPadOS: Safari
 - AndroidOS: Chrome
- 該当するエレメント
 - 数値入力
 - 数値入力 (Bulma)
 - 数値入力 (フォーマット)
 - 数値入力 (フォーマット) (Bulma)
 - 日付入力
 - 日付入力 (Bulma)
 - 時刻入力
 - 時刻入力 (Bulma)

iOS・iPadOS でダイアログを表示した際、ダイアログ内のどのエレメントにも autofocus があたりません。

HTML Living Standard では、dialog 要素を利用すると、dialog 内に配置された要素の autofocus 属性を調べます。

autofocus が指定された属性を持つ要素の内、一番最初の要素にフォーカスがあたります。

一方、autofocus が指定された属性を持つ要素がなかった場合、一番上に配置されている要素にフォーカスがあたります。

iOS・iPadOS では上記のような処理がなされず、autofocus が指定された属性を持つ要素がなかった場合、どの要素にも

Safari で、ダイアログ内のリンクからページ遷移し、ブラウザの戻るボタンをクリックすると、ダイアログの裏にあるエレメントが操作できます。

以下の操作を行います。

- アクションでダイアログを表示する。
- ダイアログ内のリンク等から別のページに遷移する。
- ブラウザの「戻る」ボタンを使用して前ページに戻る。

この結果、ダイアログは表示されていますが、ダイアログの後ろ側にあるエレメントにフォーカスを移動させたり、クリックしたりするなどの操作ができます。

Mac の Safari を使用した場合のみ、この事象が発生します。

エレメント「排他制御」のプロパティ「unlockOnLeave」が有効の場合、通信状況や端末の仕様によってはページを離れてもロックが解除されません。

プロパティ「unlockOnLeave」が有効の場合、ロックを取得しているユーザが現在のページから他のページへ遷移すると通常はロックが解除されます。

しかし、ロックを取得したユーザが使用している端末の仕様、動作状況、通信状況によっては、ロックが解除されません。プロパティ「unlockOnLeave」を利用する場合は、作成したコンテンツで排他制御エレメントの検証をしてからお使いください。

ロックが解除されない場合は、次のいずれかの方法でロックを解除してください。

- 再度同じページにアクセスしてロックを解除する。
- プロパティ「useForceUnlock」を有効にして別ユーザでロックを解除する。
- サーバ側でロックを解除する。

2023 Spring 現在、この事象は次の環境では必ず発生することを確認しています。

- iPad
- iPhone

また、この事象は上記以外のブラウザでも発生する可能性があります。

ルーティング

2023 Spring(Gerbera) 時点では制限事項はありません。

テンプレート

2019 Summer(Waltz)環境で作成したコンテンツをインポートしコピー元コンテンツとして利用する場合、サムネイルが表示されない場合があります。

- 2019 Summer(Waltz)環境で作成したコンテンツをインポートしコピー元コンテンツとして利用する場合は、デザイン画面上のUploadを実行してください。

エレメントセット

コンテナページ直下のみに配置可能なエレメントを登録したエレメントセットを使用した場合、

コンテナページ直下のみに配置可能なエレメントを登録したエレメントセットを、コンテンツ、または、テンプレートに配置した場合、タグ構造が通常と異なるため、コンテンツ種別で選択したテーマが適用されないことがあります。
配置後のエレメントセットから該当エレメントをドラッグ操作でコンテナページ直下に配置しなおすことで、テーマが適用されます。

インポート・エクスポート

IM-BloomMaker for Accel Platform のエクスポート資材には前方互換性がありません。

古いバージョンでエクスポートした資材を新しいバージョンにインポートすることは可能です。
しかし、新しいバージョンでエクスポートした資材を古いバージョンにインポートすることはできません。

WebSphere Application Server を利用する場合、テナント環境セットアップ後やインポート実行後にサーバを再起動する必要があります。

WebSphere Application Server を利用している場合、テナント環境セットアップ時に IM-BloomMaker のルーティング定義情報を WebSphere Application Server に登録しません。
ルーティング定義情報を登録しないため、IM-BloomMaker のルーティング定義一覧にある URL にアクセスしても 404 エラーページに遷移します。
テナント環境セットアップ後 WebSphere Application Server を再起動してください。
再起動することで、ルーティング定義情報が登録され、ルーティング定義一覧の URL にアクセスできます。

また、IM-BloomMaker のインポート画面で資材をインポートした後も再起動が必要です。

IM-Repository の辞書項目への参照があるコンテンツをインポートする際に、その辞書項目の存在確認を行っていません。

IM-Repository の辞書項目への参照があるコンテンツをインポートする際に、その辞書項目の存在確認を行っていません。

IM-BloomMaker の資材をインポートする前に、登録やインポートを実施するなどして、参照している辞書項目の情報をあらかじめ準備してください。

デバッグツール

Chrome 拡張機能のデバッグツールで「ページ読み込み時」に設定されたアクションはブレークポイントで一時停止しません。

Chrome 拡張機能のデバッグツールで「ページ読み込み時」に設定されたアクションにブレークポイントを設定後、アクションを実行してもブレークポイントで一時停止しません。

保証内容及び対象

この保証規程（以下、「本書」という。）並びに貴社が当社と締結した一切の契約が定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）

及び制限事項の範囲内にて貴社が本製品を利用することを条件として、当社は貴社に対し、本製品に同封され、または当社ホームページ（http://www.intra-mart.jp/document/library/?product=im_bloommaker）に掲載されているマニュアルの最新版のとおり本製品が動作することを保証します。

なお、当該保証は、貴社における内部的使用を目的とする限りにおいて適用されるものです。

また、当該保証は、当社の一方的な裁量により、無償で交換若しくは修補、又はかかる本製品の対価としてイントラマートが貴社から受領した金額の返金のいずれかの方法によるものとします。

上記の対応は、正規の当社製品を購入され、適法かつ誤りなくユーザ登録を完了されたお客様のみに

当社が行うもので、当社はその他の対応又は保証、特に本製品をインストールしたハードウェア、接続製品、及びそれらに保存されたソフトウェア、データ等の保証（但し、これらに限られない。）は一切行いません。

保証の適用除外

下記の場合は動作保証が適用されません。

- 貴社が、本書又は貴社が当社と締結した一切の契約に定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）その他の制限事項の定める範囲内にて本製品を利用しなかった場合
- 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害等の外部的事情による誤動作の場合
- 合理的な使用方法に反するご利用に起因する場合
- 貴社あるいは第三者が改変・変更等及びそれらの作業を行ったことに起因する場合
- 本製品以外のソフトウェア、ハードウェア等との互換性の問題から生じる場合

免責

本製品に関する当社の損害賠償責任は、理由のいかんを問わず、本製品の「ソフトウェア使用許諾契約書」に定める責任の限定の範囲内といたします。

その他の契約との関係

本製品の保証に関して、貴社が当社と締結した一切の契約と本書の間に齟齬がある場合には、本書の記載が優先するものとします。

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの登録商標です。

Oracle と Javaは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

以上